

令和8年度前期

学校評価だより

令和8年9月18日

教育目標 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987

F A X 0258-62-0483

Mail mitsuke.minami-jhs@edu-niigata.ed.jp

Homepage

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/minami/>

今年度1学期の学校評価アンケートに御協力くださり、ありがとうございました。生徒や保護者の皆様のアンケート結果から、成果と課題をまとめました。対策を立てて推進するとともに、皆様の御理解とご支援を賜り、学校生活の充実と心身の健全な成長につなげてまいります。

評価は、目標値に対して、A:「達成」、B:「おおむね達成」、C:「課題がある」としています。

1 学力 「確かな学力の育成 ～学びつづける生徒～」

(1) 教育活動

＜授業改善、職員研修＞



＜教え合い、学び合いの推進＞



(2) 成果目標

(3) 肯定的割合

(4) 評価

① 国語、数学、英語の全校基礎テストで、80点を上回る生徒が80%以上になる。

77.3%

B

② 「学校の学習内容が分かる・できる」が90%以上になる。

86.0%

B

③ 「学校の学習内容が生活の役に立つ」が90%以上になる。

83.0%

B

④ 定期テスト2週間前から、目標時間（1年生70分、2年生80分、3年生90分）以上の家庭学習をする生徒が80%以上になる。

67.2%

B

⑤ 「自分の生き方について考えもったり、深めたりすることができた」が80%以上になる。

83.0%

A

(5) 成果と課題

① 標準学力調査（CRT）（4月実施）

この学力調査は、全国値の正答率を50としたときの換算値で受験した学校の正答率を全国値と比較します。全国値に達しなかった学年の教科は、7月までに教科部会で協議し、課題を明らかにしました。

教科	学力調査の結果	課題
国語	1、2年生の正答率は、全国値を下回りました。3年生は、ほぼ同程度でした。	指定された条件で文章を書くことに課題があります。
社会	1、2年生の正答率は、全国値を下回りました。3年生は、ほぼ同程度でした。	重要語句などについて、正確な知識の定着が不十分であるという課題があります。
数学	1年生の正答率は、全国値とほぼ同程度でした。2、3年生は、下回りました。	図形、関数、データの活用に課題があります。
理科	1、2年生の正答率は、全国値を下回りました。3年生は、ほぼ同程度でした。	実験に関する方法の検討・分析・考察、光の性質、電子、計算問題に課題があります。
英語	1年生の正答率は、全国値を下回りました。2年生は上回りました。3年生はほぼ同程度でした。	長文の読み取りに課題があります。

- ② 全国学力・学習状況調査の結果（３年生４、５月実施）
国語、数学、英語が実施されました。

教科	国語	数学	英語
結果	全国平均正答率を上回りました。	全国平均正答率を上回りました。	全国平均正答率を上回りました。

③ 今後の取組・改善点

- ア 学力調査やテスト等での結果が全国平均正答率や目標値に達していない現状について更に分析し、対策を決めて推進します。
- イ アの分析を受けて、「授業が分かる」ことを実感できる授業改善に全校体制で取り組みます。
- ウ 家庭学習強調週間の分析結果を生徒や保護者の皆様と共有し、継続して家庭学習の意義や方法の指導や助言をします。
- エ 夏休みや放課後の図書室開放を継続し、自主的に学習する場を設定します。

２ 人間性 「豊かな人間性と社会性の育成 ～互いに認め合える生徒～」			
(1) 教育活動			
<新入生歓迎会>  <あいさつ運動>  <体育祭 結団式> 			
(2) 成果目標		(3) 肯定的割合	(4) 評価
① 「自分の活動や行動を他者から認めてもらったことがある」が80%以上になる。		81.9%	A
② 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」が80%以上になる。		95.7%	A

アンケート	質問項目	前期
見附市小中学校 共通アンケート	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	92.5%
	難しいことでも、失敗を恐れず挑戦していますか。	75.4%
	友だちの良いところや頑張っているところを見つけ、友達のことを大切にしていますか。	96.2%
南中アンケート	自分の仕事や役割を責任をもって果たしている。	93.1%

(5) 成果と課題

- ① 成果として、次のことが挙げられます。
- ア 「自分の活動や行動を他者から認めてもらったことがある」、「自分の仕事や役割を、責任をもって果たしている」など、「自分のよさ」に関する質問の肯定的評価がA評価でした。
- イ 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価の割合が95.7%と高い数値でした。
- ② 課題として、次のことが挙げられます。
- ア 「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦していますか」の肯定的評価の割合が75.4%で他の項目と比較して、低い数値となりました。一方で「自分の仕事や役割を責任をもって果たしている」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」のような質問の肯定的評価の割合は高い数値で、決められた役割を果たすことや他人のために何かを行うことについての意識は高いですが、難しいことや困難な状況に立ち向かって挑戦していくチャレンジ精神をもつことが課題です。

イ 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価の割合は高いです。しかし、1学期の学校生活では、相手の立場や気持ちを考えず、自己中心的で配慮のない言動やSNSでのトラブルなどがありました。日頃の自分の言動を客観的に振り返り、自分を戒める姿勢をもつことや、自他の人権を尊重した言動が具体的にどのようなものであるかを理解すること、いじめは犯罪であり、いじめを見て止めないことも加害者と同じ立場であることを認識することなどが課題です。

③ 今後の取組・改善点

- ア 人間関係づくりの活動やソーシャルスキルトレーニングを行い、適切な人との付き合い方を学ぶ機会を、各学年で2学期の初めや全校で月に1回程度設けます。
- イ 体育祭や合唱コンクールなどの学校行事を、安全を最優先に考えながら、生徒が主体的に運営するよう計画します。また、学校生活や行事を通してどんな姿になりたいかを考えさせ、目標をもって活動に取り組めるように働きかけます。
- ウ 体育祭や合唱コンクール終了後に、Positive Reframing（肯定的な振り返り）を実施し、お互いのよさや貢献を言語化して伝え合い、認め合って感謝する活動を通して、達成感、充実感、自己有用感を高めます。
- エ いじめ事案については毅然と対処し、普段から自他の人権に配慮した言動をとることや、いじめの場面に遭遇したときに適切な行動をとれるよう指導します。

3 マネジメント マネジメント能力の育成 ～自分に向き合い、高める生徒～			
(1) 教育活動			
＜My 健＞ 		＜感染症予防 Week＞ 	
		＜むし歯予防 Week＞ 	
(2) 成果目標		(3) 肯定的割合	(4) 評価
① 自分の生活実態にあった生活目標を立てることができる生徒が80%以上になる。		87.2%	A
② 振り返りをして、改善策を見出したり、改善に向けた行動が出来たりする生徒が80%以上になる。		78.7%	B
③ 健康な生活を送るために大切なこと（感染症予防、睡眠、運動）について理解している生徒が80%以上になる。		96.3%	A

(5) 成果と課題

① 成果として次のことが挙げられます。

健康な生活（睡眠、運動、感染症予防など）の重要性について、全校生徒の96.3%が「理解している」と回答しました。特に3年生は100%が肯定的に回答しており、教育活動の成果が知識として十分に蓄積されています。また、自分の生活に合った目標設定は、全校で87.2%の生徒が「できた」と回答しており、全学年で目標基準の80%をクリアしています。

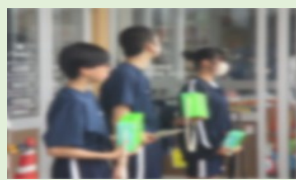
② 課題として次のことが挙げられます。

生活を振り返り改善行動をとることができた生徒は、全校で78.7%に留まり、目標の80%を下回りました。3年生が91.5%と高い数値を示す一方で、1年生（74.6%）および2年生（71.4%）の肯定評価が低く、健康な生活の重要性について知ることが出来たり、改善策を考えたりすることが出来ても、実際の行動となると難しい様子が伺えます。

③ 今後の取組・改善点

今回のMy 健の結果から、生徒は「理解し目標を立てる」ことはできていますが、「実行し改善する」ところの支援が1・2年生に不足していることが明確になりました。今後は、日

常的な声掛けに加え、「My 健」実施期間には部活動やスクールダイアリーを活用し、生活改善に向けた具体的な声掛けを重点的に行います。また、学校生活アンケート実施前には、自身の生活を振り返る機会を設けるなど、生活改善への意識づけを強化します。これらの取組を通して、生徒が目標を継続的に実践し改善につなげる力を育成し、全学年全ての項目で目標の80%以上の達成を目指します。

4 地域 「主体的に地域に貢献する姿勢とふるさとを愛する心の育成～地域とともに歩む生徒～」			
(1) 教育活動			
＜フラワーロード＞ 	＜地域貢献活動＞ 	＜1人1ボランティア＞ 	＜民踊流し＞ 
(2) 成果目標		(3) 肯定的割合	(4) 評価
① 「自分の住んでいる地域や見附のことに興味を持っている」が80%以上になる。		68.1%	B
② 「分団集会を通して、地域の様子（特徴や行事、危険個所等）を具体的に話したり記述したり、できた」が80%以上になる。		65.2%	B

(5) 成果と課題

① 成果として、次のことが挙げられます。

ア 地域貢献活動に向けた分団集会では、生徒たちの「人の役に立ちたい」という気持ちと当日に向けた意欲を掻き出すことができました。

イ 1学年を対象とした地域学習において、見附市の様々な魅力に気づくことで興味を深めるきっかけをつくることができました。

② 課題として、次のことが挙げられます。

「自分の住んでいる地域や見附のことに興味を持っている」の設問で、地域学習を行った1年生が比較的肯定的な結果となったことに見られるように、地域関連の評価では、行事の時期とアンケートの時期とのタイミングによって評価が大きく左右します。前期は行事に向けた前段の取り組みが主となるため、評価を上げるには当日に向けた意欲付けがとても大切になってきます。

③ 今後の取組・改善点

引き続き、学級活動や教科指導を通して、教職員が生徒の失敗を許容する指導の構えをもちます。また、生徒が安心して自分の考えを述べたり、新しいことや改善したいことを提案したりできる学級風土や授業づくりに取り組みます。

保護者アンケートの御意見について

※回答を必要とした方の御意見のみ記載しています。

質問・意見・要望	回答
クラブチームに所属して、地区大会、県大会等に出場している生徒への激励会への参加や結果報告をしていない理由をお聞かせください。	激励会について、今年度は学校の教育活動である「本校の部活動」や「学校代表の公式大会」を応援する校内行事としました。しかし、学校外での生徒の努力や挑戦も大変素晴らしいものです。学校としては、御家庭からの情報提供等をもとに、生徒の記録（指導要録）に記載してまいります。また、公式な上位大会（県大会以上）で入賞された際は、校内で表彰伝達いたしますので、お知らせください。